

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農政課		■担当係	農政企画係
■評価事業名称	北上地方生活研究グループ連絡協議会補助金			
■評価事業コード	050100 - 005	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上		
	■施策	04 農林業の担い手等人材の育成支援		
■事業の類型	06 負担金・補助金(ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	農家所得の向上、農村生活の改善に向けた積極的な活動を行う。農家所得の向上と農家らしいゆとりある暮らしの実現に向けた農産物加工、生活改善等の活動費補助金			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	北上地方生活研究グループ連絡協議会補助金	生活研究グループ員		<ul style="list-style-type: none"> ○農産物の販売を通じた消費者との交流 ○産地直売所「しらゆり館1・2号館」開館 6月～11月 ○母ちゃん市の開催 毎週日曜日とスペシャル2回 ○農産物加工にかかる研究活動 年2回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	90	91	97	90	
人件費	165	3,027	1,460	551	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	255	3,118	1,557	641	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	農産物の販売を通じた消費者との交流	155回	151回	152回	152回	農産物の産地直売活動の回数(北上・江釣子・和賀支部合計)しらゆり1号館50回、2号館51回、パル母ちゃん市51回
02	農産物加工に係る研究活動	2回	2回	2回	2回	地産地消研修会の開催、学校給食食材納入用野菜の栽培方法の研究活動。

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

03	生活研究グループ員数	76人	71人	61人	60人	グループ員数合計
04	消費者交流1回当りコスト	1,645円	20,649円	10,243円	4,217円	
05	加工研究活動1回当りコスト	127,500円	1,559,000円	778,500円	320,500円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

産直施設は固定客も付き好評である。地産地消にかかる研修会は、郷土料理や技術の伝承の場になっている。学校給食への食材納入は、体制が整い安定的に供給できるようになってきている。グループ員の数は減少傾向にある。

問題点・課題等

後継者が不足しているため、グループ員が減少傾向にある。活動の継続が難しくなっている班もある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

補助金の減額はグループの活動縮小に直接的につながる。